

りんぽかんだより

2025年12月1日

第261号

発行・宮ノ原隣保館

TEL 42-4620

Topic 1 多文化共生 第3回地域交流講座

16日(日)に、隣保館 調理室・会議室において、多文化共生ミャンマー料理教室を開催しました。

他国の料理と一緒に作り、一緒に食べながら歴史や文化について学び、日本との関係や誠心園で働く技能実習生がなぜ日本に来ることになったのかなど、色々な話が聞けてとても有意義な時間になりました。

ミャンマーの料理には、なかなか縁がなく楽しみにしていたみなさんが、とても喜んでくれました。また、民泊で埼玉から来ている修学旅行生も参加し、地元の子供達とも交流してくれたことが、とても嬉しかったです。

開催するまでには、誠心園の兼池施設長とも何度も打ち合わせをさせてもらって、すでに次の地域交流講座も誠心園との企画が概ね決まっています。

地域にある誠心園さんとの関りが強くなり、福祉の分野の学習もさせていただきます。環境ができ、とても感謝しています。



交流の様子



昼食中も、各席で盛り上がりました！



11月の買い物の様子



Topic 2 移動支援実行委員会開催

7月から始まった、移動支援事業ですが順調に参加者も増え宮ノ原からスタートした事業も、11月より津久茂地区のまちづくり協議会も実行委員として会に加わることになりました。また、12月から津久茂地区の方の参加も可能になりました。

館長が、津久茂地区の役員会に出向き、移動支援について説明をし、賛同いただきました。

津久茂地区も、免許を返納した方が多くなり商店もあるがやはりスーパーでの買い物も必要な時もあり、移動支援は助かるということでした。

参加者が増えれば、車両の台数も増えるため、修正点は常にあると思いますが、支援の必要な人がいる限り答えていけるよう力を尽くします。

りんぽかんへ聞きたいこと

講座申込み・会館利用申請について・相談について・その他(該当するものに○をしてください。)

しめい

氏名

TEL

秋の11月16日にスイカを食べました！



以前お知らせした、宮ノ原隣保館のかだんに育てていたスイカを秋も終わりに近づいた11月16日に収穫しました。この日、伊藤くん、宇根くんをはじめ、6名の江田島小学校の児童が来てくれました。早速、切ってみると真っ赤に育ったスイカが現れ、歓声が上がりました。そして、食べてみるとそのおいしさにびっくり！秋の終わりにスイカを食べたのは初めてでしたが、楽しい時間を過ごすことができました。6名のみなさん、ありがとうございました。



グラウンドゴルフ交流会！

無職 小川 寿子 80歳 ぎ、私としても秋の良い私が住む地区には、カ一日となった。
 キの養殖や建設、造船などの仕事で働く若い外国人の方が多く住む。ベトナムやインドネシアなどの人で、自転車に乗っている姿をよく見かける。
 そうした人々とグラウンドゴルフを通じて交流する会があり、外国の方は来日間もない9人が集まってくれた。指導役として参加した私とコースを回ったのは、24歳のインドネシアの青年だ。
 会話は少々たどたどしかったが、地域の皆さんと一緒にプレーする楽しそうな姿を見ることができた。
 (江田島市)

Gゴルフ 国や世代超えて
 国籍や年齢が違えば交流する機会は少ないが、時にスポーツはその距離を縮めてくれる。私はほぼ毎日グラウンドゴルフに行っている。隣のコートにいるテニスクラブの中学生はいつも元気よくあいさつしてくれる。それもスポーツを介しているからかもしれない。
 交流会は、新天地で新たな暮らしを始める人たちの力になりたいとの思いで企画されたと思う。
 私も好きなグラウンドゴルフで協力でき、うれしく思う。



10月19日(日)、前日からの雨も止み、外国人の方とのグラウンドゴルフ交流会を行いました。普段グラウンドゴルフを楽しんでいる皆さんも驚く上達などが見られ、楽しい時間を過ごすことができ、大好評でした。また、その様子などを伝えていただいた記事が中国新聞に載るなど外国人の方も喜んでいただけました。そして、この記事を見た江田島中学校のソフトテニス部の生徒も喜んでいました。